

# 平成28年度自己評価結果公表シート

庄本幼稚園

## I、本園の教育目標

<p>緑いっぱいの中 おもいやりのある子ども 自主性のある子ども 明るく正しく素直な心の子どもを目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身につける。</li> <li>・自然に対する関心を抱かせる。</li> <li>・丁寧な保育をし、自立心を育てる。</li> <li>・思いやりのある子どもらしい子どもに育てる。</li> <li>・行事や活動から生まれる達成感や感動を体験する。</li> </ul>
---

## II、本年度、重点的に取り組む目標と計画(PLAN)

<p>1、職員個々の評価</p> <p>(1)行事に対する取り組みと達成</p> <p>(2)日常の保育における計画と実践</p> <p>(3)保育の在り方、園児への対応</p> <p>2、全員で行う園の自己評価</p> <p>(1)保育者同士の協力連携</p> <p>(2)健康と安全への配慮</p> <p>(3)省エネと経費節減</p>
--

## III、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況(DO)
<p>1、職員個々の評価</p> <p>(1)行事に対する取り組みと達成。</p> <p>ア、運動会について</p> <p>年長、年中は鼓隊</p> <p>年少は競技、演技</p> <p>イ、作品展について</p> <p>工作</p>	<p>ア、保育者の思う目標に向って</p> <p>年長組は真剣に取り組む、頑張ることの大切さを、年中組はリズム感のとらえ方、年少組は見本も見せて、団体行動を遊びの中で教えていく</p> <p>イ、年長組は下準備から入る、年中組は作品の特長を伝え、イメージを持つことから入る。年少組は個人差を見ながら丁寧に解りやすく、</p>
<p>(2)日常の保育における計画と実践</p> <p>ア、着替え、片づけ</p> <p>イ、食に興味を持つ、給食を完食しているか、</p> <p>ウ、保育者の話をきちんと聞ける</p> <p>エ、集団遊び。</p>	<p>ア、着替えをきちんとたたんでいるか、一人一人声かけをする、すぐに手を貸さず見まもる。</p> <p>イ、給食の中みについて聞く、絵本等で食材の名称や原材料なども教え食に関心をもたせることにより好き嫌いをなくしていく。完食できるよう励まし、完食した子を見習うよう促す。</p> <p>ウ、話を聞く姿勢がとれているか、話をしている人の顔を見るよう伝える。正しく聞けるようになるまで時間をかけて指導を続ける。</p> <p>エ、集団遊びのルールを教える、トラブルがあったとき自分達で解決できるように</p>
<p>(3)保育の在り方、園児への対応</p> <p>園児のみと理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児一人一人や園児同士の関わり、園児の話を聞き取り、サインを受け止め、観察と全体への目配りを</li> <li>・保育者の一方的な決め付けをしない</li> <li>園児の今、興味の話の聞いたり、保護者の話も聞く、多面的にとらえるよう</li> </ul>
<p>2、全員で行う園の自己評価</p> <p>(1)保育者同士の協力連携</p> <p>ア、教職員同士の連携と情報の共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスに関係なくその場にいた教師が適切な言葉かけや対応をする。</li> <li>・保育者同士クラスを超えて情報を共有する、</li> <li>・指導上配慮を必要とする園児については全員で特に話し合い、共通理解を持って対応する。</li> </ul>
<p>(2)健康と安全への配慮</p> <p>ア、健康への配慮</p> <p>イ、伝染性病気対策</p> <p>ウ、遊具等の点検マニュアルの活用</p>	<p>ア、登園時の視診、ケガや体調不良時の処置、連絡を適切に。朝の挨拶時、普段の園児の顔色、体調などの観察が必要。ケガの場合、的確に判断し、かかりつけ医の診察を受け、保護者に伝える。医師の診察をうけなく園で処置した場合でも退園時等に保護者に伝える。</p> <p>イ、手洗い、うがい、除菌、発熱、せき、下痢等</p> <p>ウ、毎朝の目視点検、週1回、2カ月1回点検、遊びの指導。</p>

<p>(3)省エネと経費節減 ア、消灯、電源の切り忘れ  イ、水道蛇口出し放し  ウ、冷暖房の不適正温度  エ、外気温の利用  オ、トイレトーパー、ティッシュの適量な使用。</p>	<p>ア、声に出して指差し点検、不使用の場合は切るように心がけている  イ、教育用に年長クラスに手動水栓を残している。不使用の場合は閉めるよう指導している。 ウ、子どもに合わせて温度調整している。  エ、子どもの健康を考えて、できるだけ外気温の利用をしている。  オ、無駄使いをしないよう指導、見守りを続けていく。</p>
--	---

#### IV. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果(CHECK)

取り組むべき目標や計画について、全職員が共通に理解し積極的に取り組んだ。時間をかけて取り組むこと、個人差も考慮し保育者の一方的な決め付けをしない。子どもたちが楽しく参加出来る配慮も必要。遊具等の点検の結果、修理等に早めの処置ができた。電気や水道等の切り忘れがほとんど見られなかった。今後も引き続き研鑽、努力する必要がある。

#### V. 今後、取り組むべき課題(ACTION)

重点的に取り組むべき目標や項目について、全職員が十分に理解し、実行できるよう、環境づくり、意識の高揚に努力しなければならない。小規模園でこそ情報の共有が期待されている。多面的なとらえ方、時間的な余裕も必要。施設については常日頃の、いろんな角度からの点検を行い、想定される危険性に気付き早めの対策が必要。職員の自覚と、園内研修の実施が必要。

#### VI. 学校関係者の評価

評価は概ね妥当であると認められる。家庭との連絡も適切に行われ、先生方のきめ細かな熱心な指導も良好であるとみとめられる。しかし一部連絡漏れがあったり、対応不足がみられるところもある。評価内容については、一人一人の性格の把握、園児に対する話しかけ、ケガ、熱等の対応、連絡等良く行われていた。と意見がありクラス人数の多い保育者が時間的余裕がないことも理解されていた。電気水道等は切り忘れがほとんど見られなかった。これら意見に甘んずることなく、より研鑽努力を必要とされる。

#### VII. 財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められている。